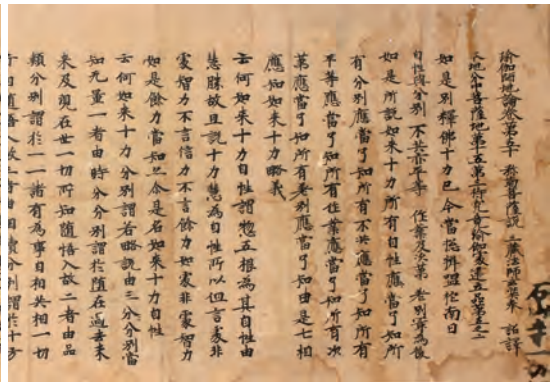
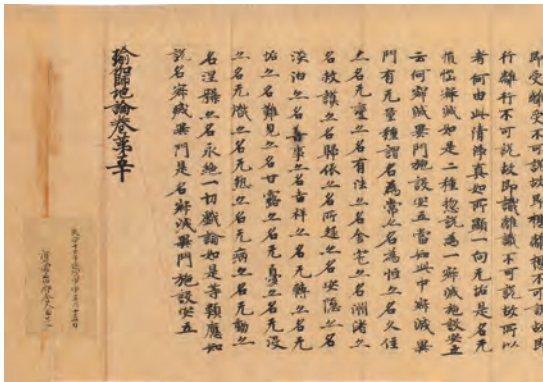


1. 諸星母陀羅尼經 一卷

16,500,000 円

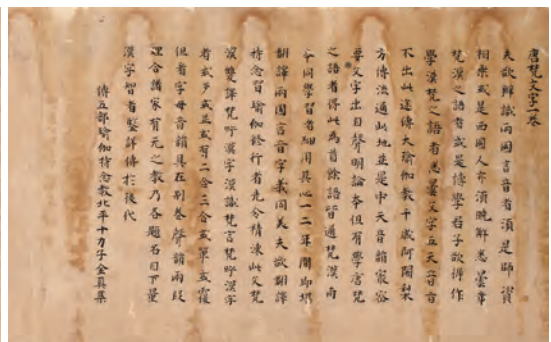
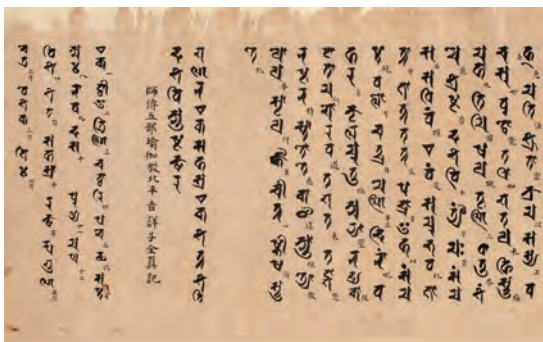
敦煌經 法成訳 唐代代写 四紙継 首尾完存 原装原軸 紙高 25.4 糎 長さ 1 米 62 糎 卷子装 箱入



2. 瑜伽師地論 卷第五十一帖

9,900,000 円

石山寺一切経 天平十六年写 二十紙継 首尾完存 紙高 23.8 糎 長さ 11 米 20 糎 折帖装 箱入 浸
本巻の奥書は石山寺蔵巻第八十四と同様に尾題左横に貼付される。これは本来現状より奥にあったものを、卷子から折帖に改装した際に切り取って移したものと推定されている。貼奥書「天平十六年歲次甲申三月十五日 讀岐国山田郡舍人國足」。



3. 唐梵文字 一卷

4,400,000 円

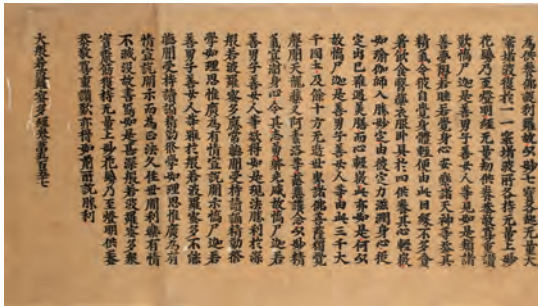
全真 平安後期写 十一紙継 首尾完存 紙高 27.8 糎 長さ 5 米 99 糎 卷子装 箱入 虫喰補修 浸



4. 法華經殘卷 一卷

990,000 円

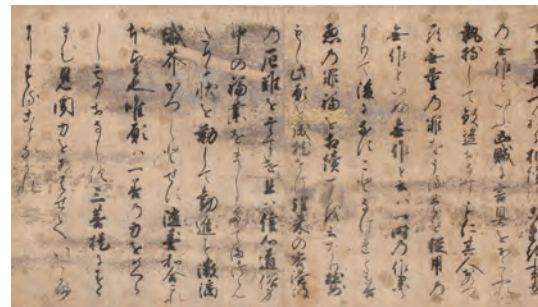
伝英彦山埋経 平安末期写 九紙継 台紙紙高 21.1 糎 長さ 3 米 84 糎 卷子装 箱入
平成十三年財津永次氏箱書に「法華経断簡 英彦山経筒納入経」と伝えるもので、妙法蓮華経卷第三薬草喻品第五の途中から化城喻品第七の途中までを存している。



5. 大般若波羅蜜多經 卷第五百五十七 一卷

165,000 円

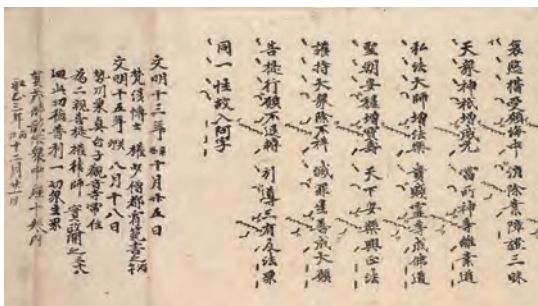
嘉禄版 春日版 二十一紙継 朱点入 紙高 26.5 糎 長さ 8 米 87 糎 卷子装 箱入 虫喰補修



6. 紅橋勸進帳 一卷

1,100,000 円

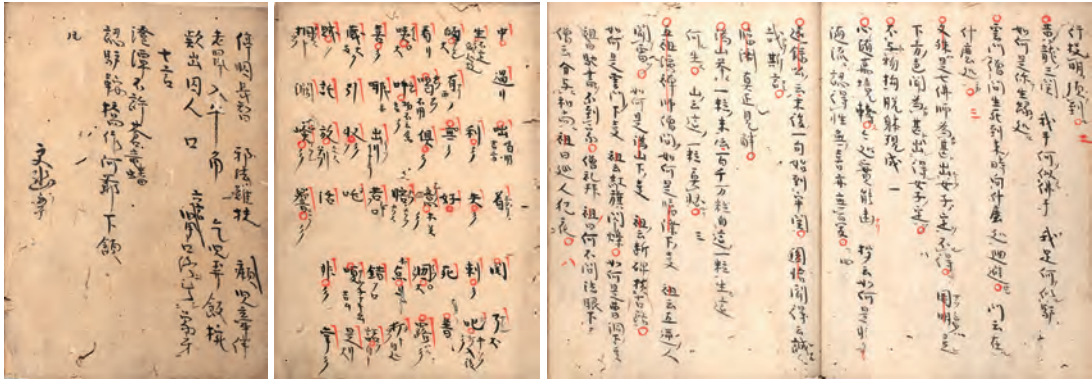
伝青蓮院尊道入道親王筆 南北朝期写 彩箋 貞享四年二世畠山牛庵奥書極 紙高 29.5 糎 長さ 1 米 70 糎 卷子装 箱入 折れ



7. 大楽金剛不空真実三摩耶経般若波羅蜜多理趣品 一卷

1,650,000 円

有範書 文明十五年刊 勢州栗真白子観音寺常住實政開版 二十二紙継 紙高 27.2 糎 長さ 7 米 36 糎 卷子装 箱入 少虫喰補修 浸
墨書「賀茂御影供衆中十卷内 永正三年丙寅十二月廿一日」



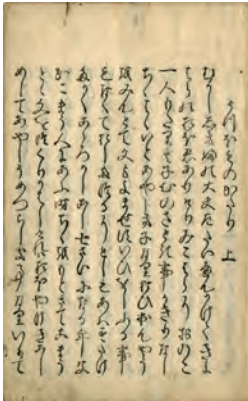
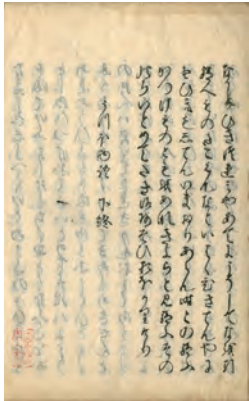
8. 古則句草子 二冊

495,000 円

古 則・室町後期写 12 丁 大本 (28.7 × 22.3 糶) 結び綴 少虫喰 破れ補修

句草子・室町後期写 31 丁 半紙本 (23.4 × 17.8 糶) 結び綴 少虫喰 箱入

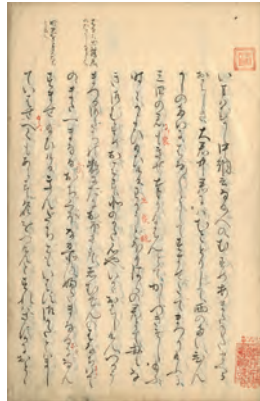
古箱蓋表に「國師之御筆 古則句草子」と伝えるが、國師は未詳。「古則」は大徳寺系の百則公案集。「句草子」は表紙に「句裡呈機」と題するもので、大徳寺派が用いた公案の内容分類で配列された句双紙である。奥に「更幽齋」とあるのは津田宗及か。



9. うつほものがたり 二冊 1,320,000 円

寛永頃刊 古活字版 第一種本口種

大本 (27.2 × 17.8 糶) 題簽欠 少虫喰 少浸

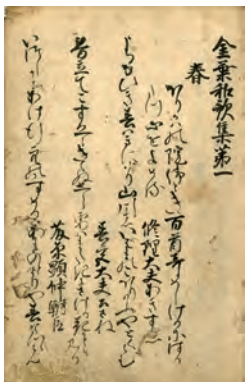


10. 落窪物語 三冊

385,000 円

江戸後期写 朱墨書入 185 丁 大本 (28 × 19.1 糶)

帙入 少虫喰

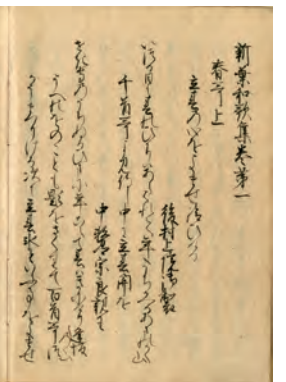
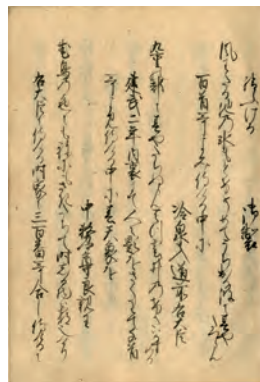


11. 金葉和歌集 一帖

440,000 円

室町後期写 二度本 (精撰本系類・終稿本系)

116 丁 24.8 × 15.8 糶 綴葉装 箱入 虫喰 浸一丁 (巻九・6 首分) 落丁

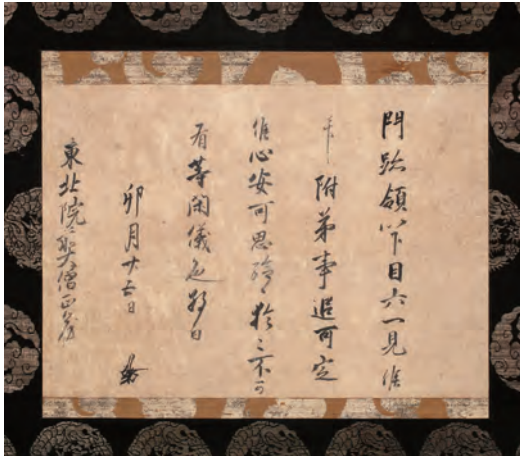


12. 新葉和歌集 二帖

275,000 円

江戸初期写 奏覧本系 (鉄心齋文庫旧蔵) 153 丁

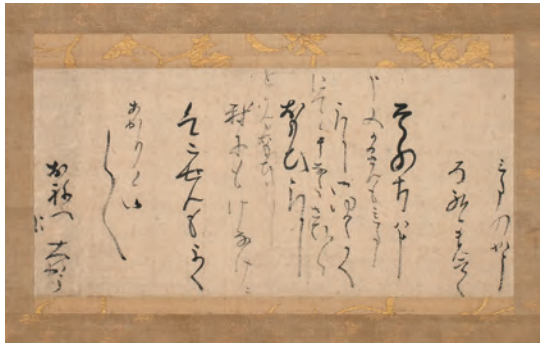
25.6 × 17.9 糶 綴葉装 帙入 巻下題簽欠 極少虫喰 序・本文・論旨写の順で書写。巻十～十五の恋部を欠く。



13. 足利義満自筆書状 一幅 1,320,000 円

卯月廿五日付 東北院前大僧正宛 本紙 32 × 45.5 糶
総丈 122 × 57 糶 軸装 箱入

宛所は奈良興福寺の東北院前大僧正で、興福寺別当円兼か。興福寺の門跡領目録を見たことを伝え、後継の院主となる弟子についても追って定めるので安心してほしいと述べる。



15. 豊臣秀吉自筆書状 一幅 2,200,000 円

おね宛 玉井敬泉旧蔵并略解付 本紙 21.3 × 44.6 糶
総丈 104.5 × 56.6 糶 軸装 二重箱入

正室おね宛の書状。おねに逢いたいとし、こちらは元気にしてしていると記している。追而書の部分では、見事な香炉を贈られ満足だと述べる。



17. 加藤嘉明自筆書状 一幅
五月十二日付 本紙 33・8 × 44・9 糶
総丈 121 × 49・5 糶 軸装 箱入 五五〇,〇〇〇 円

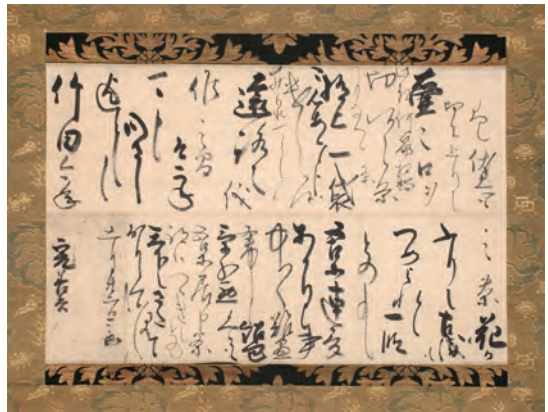
病氣見舞いとして使者や鯉を送ってくれたことに対する礼を述べ、延寿院（曲直瀬玄朔）の薬で回復したので安心して欲しい、ずっと療養で引きこもっていたが、四、五日中には伺候し、お礼をしたいと記している。



14. 大内義隆書状 一幅 880,000 円

六月廿六日付 真光院宛 本紙 19.8 × 40.8 糶
総丈 114 × 54.4 糶 軸装 箱入

仁和寺の院家、真光院尊海宛書状。御所様（仁和寺門跡力）に対して礼状を差し上げたところ、御在国ということを知り、手紙も差し上げず恐縮していると述べる。



16. 毛利輝元自筆書状 一幅 198,000 円

十一月廿二日付 宍善吉宛 井上昌箱書 本紙 29.7 × 45.5 糶 総丈 113.5 × 55.6 糶 軸装 箱入

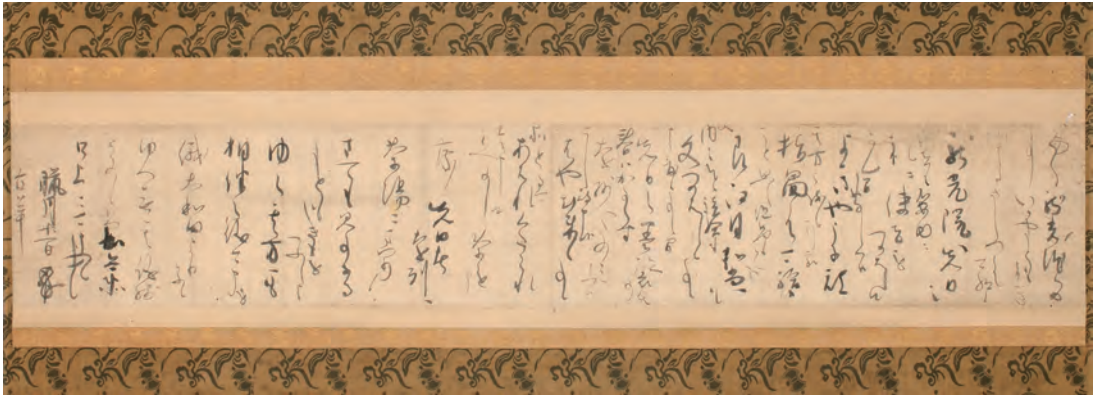
毛利家臣宍戸元行宛。新茶の壺の口切をしたので「極上一袋」を送るとし、遠路を運ぶので傷むかもしれないと記す。また「吾等連歌」の完成について手紙では書き尽し難いが、紹巴の気分が悪くても、自分たちだけで連歌をつなげていくことができるという世間の評判に満足していると述べる。



18. 細川三斎書状 一幅 198,000 円

八月廿二日付 村上掃部頭宛 本紙 17.4 × 61.5 糶
総丈 106 × 63.8 糶 軸装 箱入

村上掃部頭（武吉、あるいは子の元吉）から贈られた木練一籠に対する細川三斎（忠興）の礼状。美味しく頂いたこと、詳細は使者の魚住伝左衛門から述べる旨を記している。

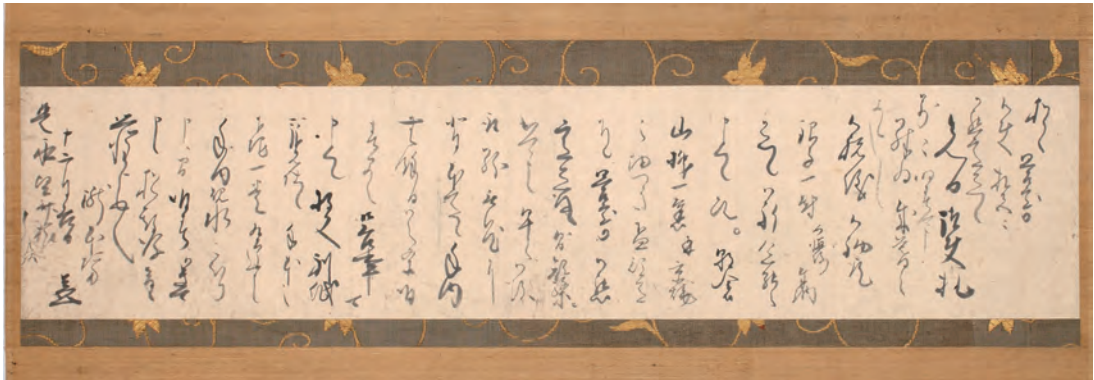


19. 高松宮好仁親王自筆書状 一幅

198,000 円

臘月廿一日付 亡羊宛 本紙 16.5 × 96.3 糎 総丈 111 × 98.1 糎 軸装 箱入 少虫喰

後陽成天皇の第七皇子高松宮家初代好仁親王の、三宅亡羊宛書状。冒頭の龍光院は、慶長十一年に建立された大徳寺の塔頭。先日の礼として使者を遣わずとし、龍光院の開祖江月宗玩和尚へも手紙を出したことを記している。また、龍光院には多くの寛永文化を彩る文化人が集ったが、その一人である小堀遠州の茶会はとても見事で肝を潰したことを述べる。

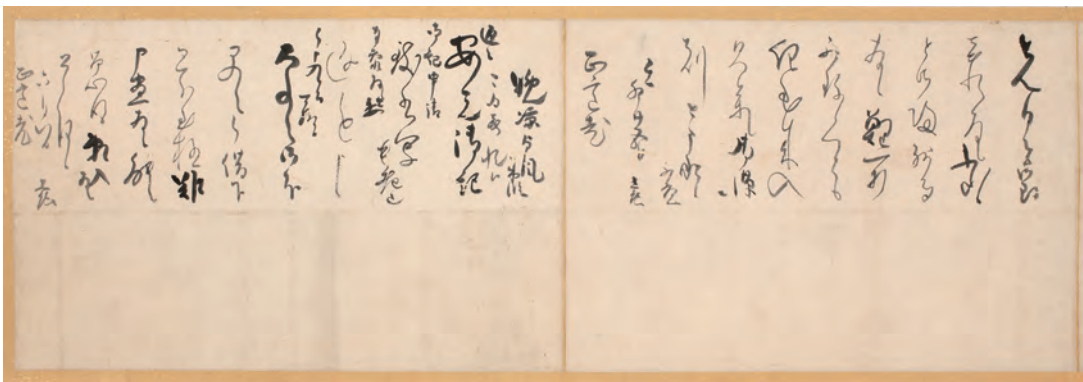


20. 松花堂昭乗自筆書状 一幅

132,000 円

十二月吉日付 豊永堅齋宛 白寄頭成箱書 本紙 16.3 × 73.5 糎 総丈 101.5 × 75.8 糎 軸装 箱入

宛先の豊永（宗如）堅齋は、伊丹重好という徳川秀忠の家臣。歳暮の祝儀として贈られた朝倉山椒などの礼を述べ、後半では、別紙で拝見した下地の一巻については、今は硯の水も凍るような時期なので、明春に書きますなどと記している。



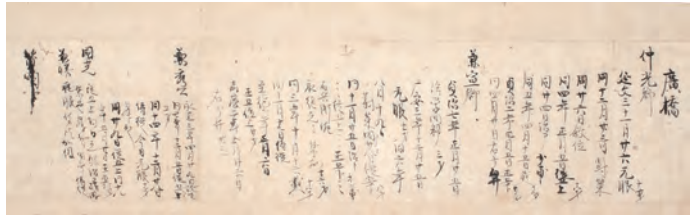
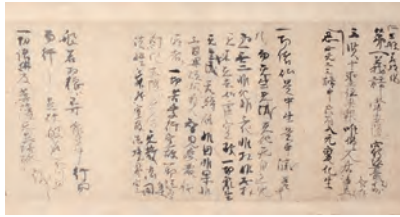
21. 烏丸光広自筆書状 一卷

330,000 円

(一) 五月十一日付 正意法眼宛 32.9 × 91.1 糎 (二) 閏卯二十五日付 正意老宛 32.9 × 47.7 糎

(三) 六月八日付 正意老宛 32.9 × 51.2 糎 三通合装 総丈紙高 35.5 糎 長さ 2 米 14 糎 卷子装 箱入

烏丸光広の書状三通。いずれも宛先は堀杏庵（正意）である。(一)(二)では、杏庵の来訪を受けたが早々のお帰りを残念に思うと記し、(二)では来訪のお礼として鯉を贈ると記している。(三)では、平安時代の歌人、藤原隆房の仮名日記「安元御賀記」をお借りして書写したのでお返ししますと記し、大事な本を貸してくれたことに対する礼を述べる。

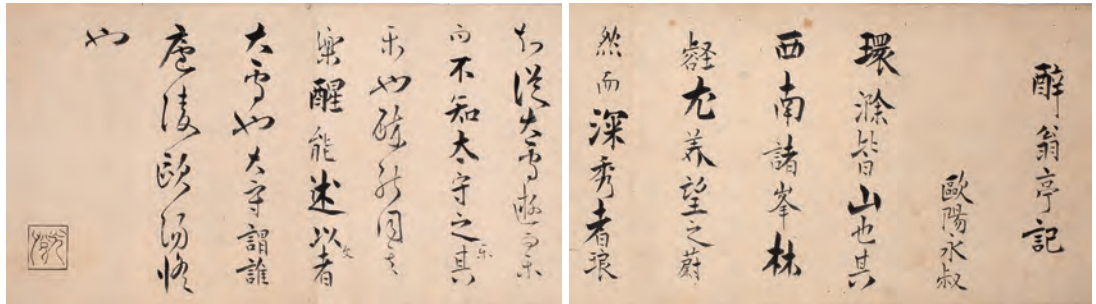


22. 伝烏丸光広記録残簡 二巻

88,000円

江戸初期写 各紙高20.7糎 長さ(一)2米11糎(二)82糎 卷子装 少虫喰

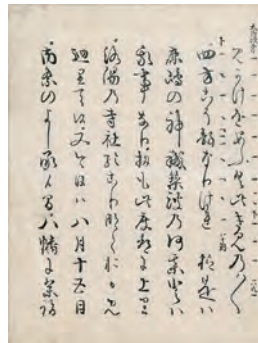
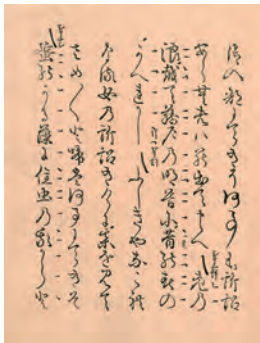
「中山家伝来光広卿御筆」と伝えるもので、(一)は日野家等三家待従例を記し、(二)は仁王般若経注を記す。



23. 本阿弥光悦書巻 一巻

1,980,000円

歐陽永叔醉翁亭記 卷末「光悦」黒方印 素紙 十一紙継 紙高31糎 長さ5米71糎 卷子装 箱入 虫喰補修



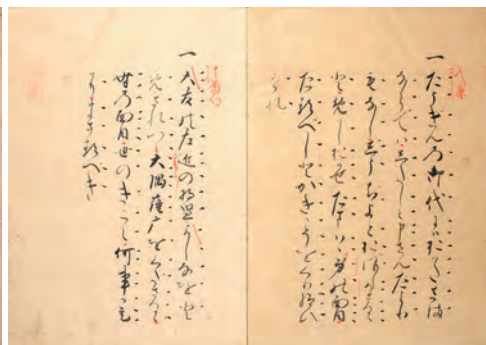
24. 藤戸 一帖

550,000円

光悦謄本 慶長期刊 古活字版 色替本 12丁
23.8×18糎 綴葉装 帙入

25. 放生川 一帖

275,000円

光悦謄本 慶長期刊 古活字版 上製本 12丁
24×18糎 綴葉装 帙入 少浸

26. 舞小ふしのほん 二帖

2,750,000円

小謡・江戸初期写 89丁 24.8×17.5糎 無題・延宝八年幸若庄太夫長明筆 25丁 25.5×18.2糎
各綴葉装 箱入

掲題は箱書による。幸若歌謡集二帖で、表紙に「小謡 全」とし59章段を収める一帖と、無題の幸若庄太夫長明筆本で32章段を収める一帖。いずれも節付で、曲節等を朱書で記す。長明筆本のうち「俊基之内」の章段と「熊野落之内」の「其道の程…」からはじまる章段は新出か。

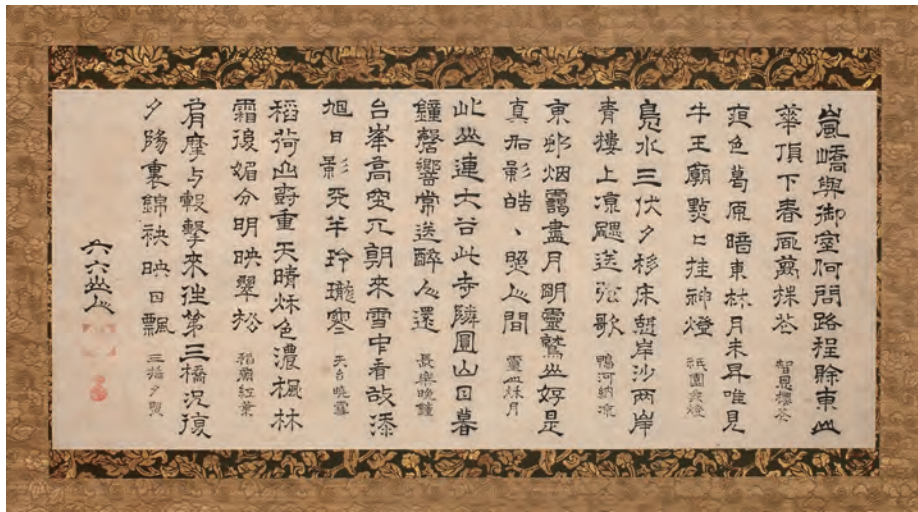


27. 曲直瀬玄朔書状 一巻

220,000 円

三月三日付 本紙 15.8 × 56.3 糶 総丈 18.3 × 143 糶 卷子装

宛先は欠くが、徳島藩蜂須賀家関係と推定される。冒頭に「阿州様」（蜂須賀至鎮あるいは忠英か）が、参勤交代の暇をもらい領国に無事帰還して皆満足のこととお察ししますと記す。また、至鎮の父である蓬庵（家政）が去年患ったが、すぐに回復したことは大変目度いなどと述べる。



28. 石川丈山書幅 一幅

二万五〇〇〇 円

洛陽八景詩 本紙 29.1 × 66.4 糶 総丈 114 × 90.9 糶
軸装 箱入 表具傷み 少虫喰



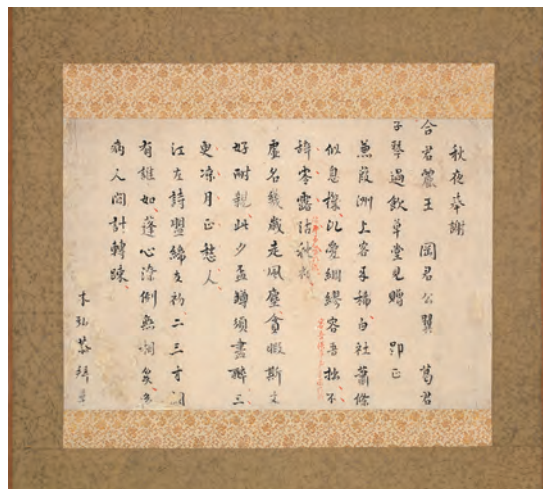
29. 葛子琴詩幅 一幅

88,000 円

贈世肅木詞伯 五言排律

『木村兼葭堂 - なにわの巨人』展図録所載

本紙 21.9 × 17.2 糶 総丈 134 × 30.5 糶 軸装 箱入



30. 木村兼葭堂詩稿幅 一幅

132,000 円

秋夜奉謝七絶三首 細合平斎・岡公翼・葛子琴宛

『木村兼葭堂 - なにわの巨人』展図録所載

本紙 27.8 × 41 糶 総丈 107 × 51.5 糶 軸装 箱入 虫喰補修



31. 酒典童子 三巻

3,850,000 円

寛永頃写 金銀泥着色画(上)10図(中)8図(下)9図 紺紙金泥下絵入表紙

紙高各36糎 長さ(上)15米60糎(中)14米30糎(下)16米47糎 卷子装 塗箱入 折れ 少虫喰補修

外題は「酒典童子上(中・下)」。伊吹山系伝本。本文は『室町時代物語大成』所収の大東急記念文庫蔵本に近似しているものの、異同も著しい。



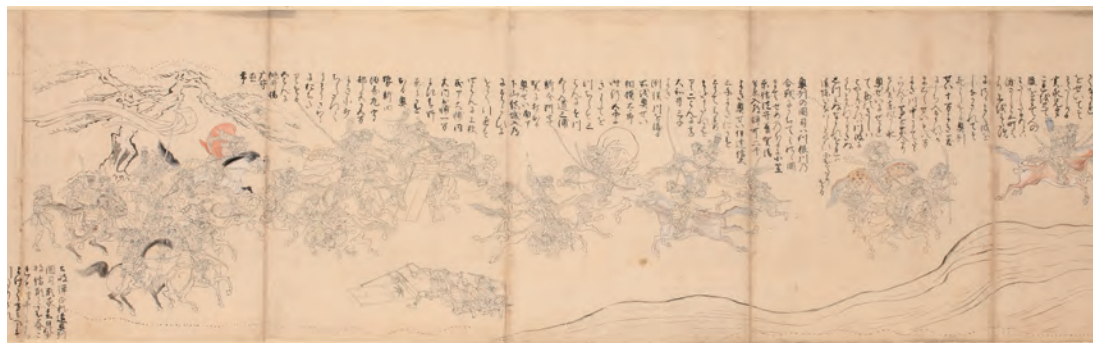
32. 鈴鹿 三巻

4,400,000 円

寛文・延宝頃写 着色画(上)8図(中)8図(下)7図 詞書・金泥下絵入料紙

紙高各32.5糎 長さ(上)17米38糎(中)18米22糎(下)16米98糎 卷子装 箱入

掲題は外題による。本文は『台湾大学国書資料集1』所収の台湾大学図書館蔵絵巻「たむら」に近似している。



33. 太平記絵巻 三巻

770,000 円

江戸後期写 白描画 巻七・九に一部着色あり (巻七)紙高38.7糎 長さ15米42糎

(巻九)紙高36.1糎 長さ14米52糎 (巻十二)紙高40糎 長さ14米96糎 卷子装 箱入

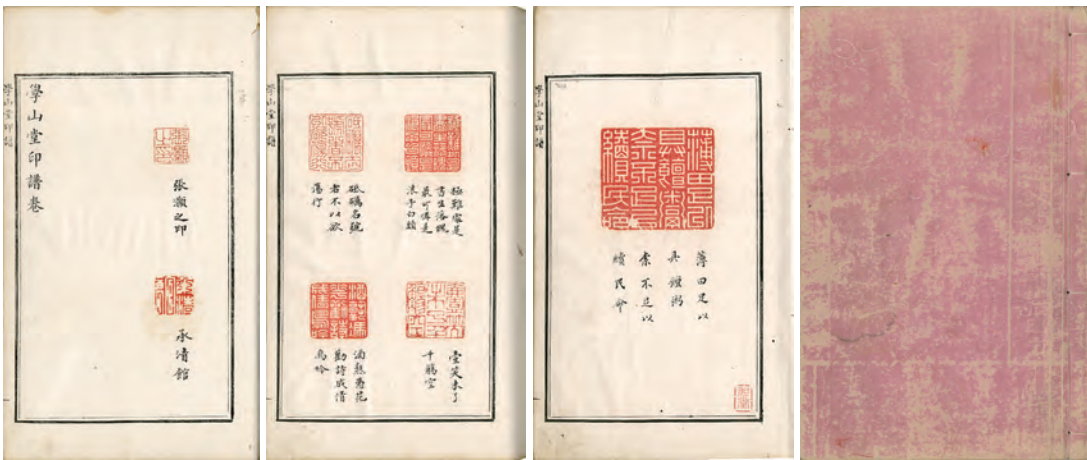
伝海北友雪画「太平記絵巻」の模本。巻七・九・十二の3巻を存す。巻七・九は白描図を基調とし一部に着色が施され色の指示書きがある。巻七には首に「深川文庫」印が捺され、鈴木真年の旧蔵本と知られる。巻九は首の一葉を欠くが、巻七と同一筆者による模本と思われる。巻十二のみ詞書がなく、巻七・九と比してやや時代が下がる。



34. 蘭亭図巻 一巻

1,320,000 円

小巻 万暦期益王繡刻本 墨拓 益王題字 紙高 23.2 糎 長さ 5 米 49 糎 卷子装 箱入 傷み



35. 学山堂印譜 六冊

6,600,000 円

張瀛撰 明末期刊 原鈐 492 顆 四世浜村蔵六・岡田旭堂・木村竹香・藤井寿修館・高橋檀堂旧蔵
初世中村蘭台・五世浜村蔵六箱書 27.3 × 17.3 糎 箱・帙入 少虫喰 浸
崇禎四年刊十卷本とは別本。



36. 吉金所見録 四冊

385,000 円

初尚齡撰 道光七年古香書舍刊本 筒井喜一郎旧蔵
十六卷首一卷末一卷 25.5 × 16.4 糎 帙入

37. 太上感應篇図説 八冊

385,000 円

黄正元撰 光緒七年重刊本 24.8 × 15.7 糎 帙入
少浸

39 医祖像 一幅

四五〇〇〇円

鈴木鷺湖・芥菴・川上冬崖画 安政七年頃 絹本着色画 内田六郎旧蔵
 本紙121・6×63浬 総丈188×73・4浬 軸装 箱入
 上段に少彦名命、下段に神農とヒポクラテスを描いたと思しきもので、仮に医祖像と題した。三名の合作で、少彦名命を鈴木鷺湖、神農を芥菴（伝未詳、目賀田介庵か）、ヒポクラテスを川上冬崖が描いている。



38 医聖依卜加得像 一幅

一六五〇〇〇円

文政七年桂川甫賢自画并讀 紙本着色画 本紙134×57・1浬 総丈193×61・9浬 軸装 箱入 虫喰補修
 桂川甫賢によるヒポクラテス像賛。賛はヒポクラテス『箴言』の一節を漢文と蘭文にて記している。印記「桂印。国璽」「字清遠」。



42 日月図 一幅

三〇〇〇〇円

士俊筆 絹本着色画 明治期写 本紙105・8×37・2浬 総丈166・5×50・5浬 軸装 箱入



40 天文星象之図 一舗

三八五〇〇〇円

江戸後期刊 墨刷 一部朱入 70×70・8浬 原装



41 エレキテル 一組

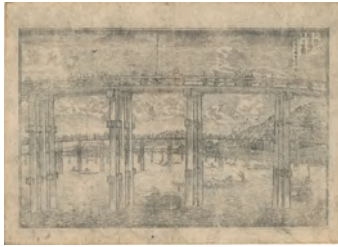
一六〇〇〇〇円

江戸末期製 治療器・23×12×12浬
 電池・豎11×径9浬
 『江戸大博覧会』展図録所載
 佐久間象山型電気治療器とも称される。導線および導子と電池端子、亜鉛棒（板）を欠く。導線および導子の納箱付。





43. ゼルマニヤ廊中之図
一枚 八八〇〇〇円
亜欧堂田善 文化六年刊
銅版刷 27・1×58・5 糶
未装裏打 少虫喰



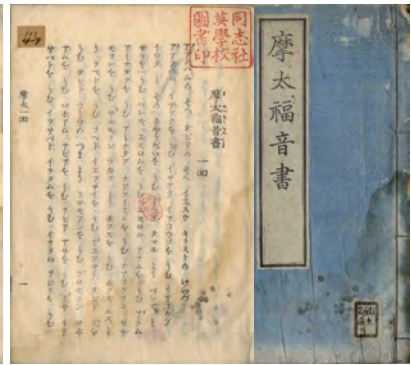
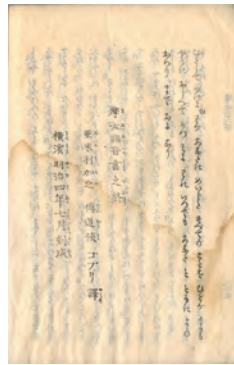
44. 大坂難波橋より東を望図
一枚 四〇〇〇円
中川信輔 江戸後期刊
12・1×16・7 糶 未装
銅版刷



45. 地球万国全圖
一枚 八八〇〇〇円
玄々堂松本儀平 天保七年刊
附地球図略説
図14・7×22・3 糶 未装



46. 真人図 一面
三八五〇〇円
江戸末期写 着色画
総丈70・7×40・3 糶
本紙42・1×27・1 糶
額装



47. 摩太福音書 一冊 1,980,000円
ゴブリ訳 明治四年刊 同志社英学校旧蔵 大本(26.2×18.5 糶)
浸



48. (羅) シェーデル世界図 一枚 660,000円
Schedel, H. - Secunda etas mundi.
「ニュルンベルク年代記」(1493年刊 ラテン語版)内
木版 41×58.3 糶 未装 破れ補修



49. (仏) ティリオン新版中国帝国及び近隣諸国図
一枚 77,000円
Tirion, I. - Nouvelle Carte de l'Empire de la Chine, et les
Pais circonvoisins. アムステルダム刊 銅版 筆彩色
50.8×40.1 糶 未装



50. 繪羽模様見本帖 一帖 220,000 円
 明治期写 着色 68 図 48.4 × 33.2 糎 折帖装 帙入
 72 番中 1 ~ 3・31 番を欠く。



51. 人種紋様 二冊 77,000 円
 大野雲外 上代日本の部・明治四十年刊
 先住民の部・大正五年刊 芸艸堂版 色刷
 18.9 × 28 糎 包背装 乱丁



52. 高山植物図譜 一括 330,000 円
 井上正晴 木版色刷 50 葉 昭和六~七年
 内田美術書肆刊 本紙各約 38.6 × 25.5 糎 未装台貼
 解説付薄葉カパー (一部欠) 少汚れ 台紙傷み・蔵印



53. 恭三花鳥画集 一帙 三万五千元
 山田恭三画 木版色刷 上下共 各18葉序1葉 昭和八年
 マリヤ書房刊 本紙各約 30・2 × 42・5 糎 未装台貼
 一部汚れ 台紙・帙傷み



54. 簞子生画選 三十六枚 三万五千元
 土屋楽山画 木版色刷 昭和九~十年
 楽山花鳥画譜頒布会刊 各約 25・5 × 38・5 糎 未装台貼
 元タトウ入



55. 日本女俗選 十枚 220,000 円
 前川千帆等日本版画協会同人自画自刻 昭和二十一年
 富岳本社刊 各約 26 × 21 糎 元帙入 浸